

令和4年6月1日

墨田区長  
山本 亨 様

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会  
会長 會田 玉美

令和3年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの  
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の評価  
について

令和2年6月6日付け2墨地地第270号をもって貴職より諮問のありました  
事項のうち、下記事項に関して結論を得ましたので、別紙のとおり答申しま  
す。

#### 記

1. 令和3年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの  
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の  
評価について

(別紙)

令和3年度すみだの力応援助成金を交付した6事業(ステップアップ応援コース5事業、スタート応援コース1事業)及びすみだの夢応援助成金を交付した5事業の評価について審議した結果、以下のとおり意見をまとめました。

■すみだの力応援助成事業(6事業)

【ステップアップ応援コース】

	団体名	事業名	助成額(円)
1	特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会	すみだでつながる多文化交流	430,000
	(意見) 区内在住外国人との交流の場をつくり、多文化交流や地域交流を深めることに貢献している。また、アンケート調査を実施したことは、外国人の暮らしの課題を把握することができ、解決にもつなげていける点で評価される。一方、経費においては委託料の割合が高く、団体の人的資源の育成が望まれる。また、各イベントへの参加者が増加したり、相談窓口としての取組が多く外国人に認知されるよう、広報活動の充実化が求められる。アンケートにより把握した課題を今後の活動に反映させるとともに、外国人の相談窓口となり、ひいては地域交流のハブとなることを期待する。		
2	すみだ新製品開発プロジェクト	災害時には地域支援ができる 移動図書館リヤカー事業	500,000
	(意見) 地域交流の場を育み、本や遊びなどを楽しみながら、災害時の支援もできる点を評価する。また、移動図書館の実施場所や本の返却場所等、地域と協力・連携しながら活動できている点も評価される。今後は場所や時間を固定し、定期的で開催することで、より地域住民への認知度が高まることが期待できる。一方、災害支援ができることは製作したリヤカーの特長であるため、移動図書館開催の際に簡易な防災授業を行うなど、災害対策、防災意識に対する普及啓発への試みにも力点を置いて事業を実施することを期待する。		

	団体名	事業名	助成額(円)
3	墨田区青少年育成委員会連絡協議会	すみだっ子たちの夢支援	500,000
	<p>(意見)</p> <p>子どもたちの夢実現のきっかけをつくり、夢を持つことの楽しさや、感動を与えることができた点を評価する。また、夢の実現だけでなく、支援の輪を広げ、地域のつながりを強固にしている点も評価できる。一方で、今回夢が叶わなかった子どもたちに対し、どうすれば夢に近づけるかを考える場を設けるなどのフォロー体制を整えることを期待する。継続的に事業を実施することが望ましいが、本事業の潜在的な支援者を開拓するため、他団体との交流・連携などを強化していくことも求められる。</p>		
4	SmileyMarket	SmileFestival	176,160
	<p>(意見)</p> <p>子どもたちの意見を尊重することで、子どもたちが積極的におしごとに取り組み、良い学びの場となったことは評価される。一方、コロナ禍の状況を踏まえると、食べ物を出すことにこだわらず、どのような内容なら参加者が安心して参加でき、参加者を増やすことができるかを考える必要があったと考察する。本事業を推進するための会員数の増強とともに、事業活動のスキルアップを図ることも求められる。他団体と協働するなどして、まずは団体自身の運営力を高め、その上で子どもたちに創意工夫をしていくことの楽しさ、大切さを教えていく必要がある。今年度の活動実施の反省点を踏まえ、その改善点を事業活動に反映させていくことを期待する。</p>		
5	一般社団法人うちナース	コロナ禍のこどもたちがいきいき育てる街に！	291,500
	<p>(意見)</p> <p>交流の場、支援の場の提供により、安心して子育てができる環境を提供できた点を評価する。また、フードロス問題も考慮し、他団体とも連携できた点は評価される。一方、本事業は多くの人の手助けや協力が必要になることから、地域とのコミュニケーションも重要であると考察する。また、事業実施後にアンケートを実施することで、次年度以降のニーズを把握し、活動に活かすことも望まれる。今後は、団体内での役割分担、活動状況の共有も含めて組織体制を整備し、継続的に取り組むことを期待する。</p>		

【スタート応援コース】

	団体名	事業名	助成額(円)
	SHEAMB	SHEAMB	100,000
1	<p>(意見)</p> <p>忘れ物の傘を活用するという着眼点は良く、身近な傘を使って環境問題への意識を高めようとしている点を評価する。一方で、本事業の実施によってビニール傘購入の削減につながったかが示されていないため、今後は、利用率や返却率を明示することが求められる。また、傘にプリントしてリユースすることで、かえって環境に負荷をかけていないかを検証する必要もある。地域のあらゆる施設に設置依頼のアプローチを試みることで、より多くの区民の利用を図ることや、ソフト面における利用促進のための創意工夫をすることが望ましい。忘れ物の傘を有効活用するためのノウハウを他団体へ提供できるようになり、ひいてはシェアリングの文化を広めていけるようになることを期待する。</p>		

■すみだの夢応援助成事業（5事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
	株式会社セラピア	学校では教えない！「キミのアイデア、スマホアプリ化」プロジェクト	595,000
1	<p>(意見)</p> <p>学校では、なかなか教えることのできない、小・中学生向けのスマホアプリ作成の体験事業の実施について評価できる。また、情報化社会に対応する人材育成に貢献した点等も評価できる。今後の展開として、習得した中学生が小学生に教えられるようなシステムの構築や、参加者のステップアップコース、さらには高校生、大学生、成人向けにアプリ開発講座を開催するなど、事業の幅を広げていくことを期待する。また、大学生のボランティアを募集して、コアティーチャーとしたり、商工会議所、青年会議所、観光協会との連携等も図れると良いのではないかな。</p>		
	特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会	車イスでも野菜作りをしたい！子供たちと蛍を灯したい！“たもんじ交流農園”	1,118,750
2	<p>(意見)</p> <p>地域資源としての「寺島なす」の活用をベースとした世代間交流の場づくりとして、さらには環境や福祉活動等の実践の場としての事業推進は評価できる。区内のみならず、区外からも支援をいただきながら毎年少しずつステップアップし、参加型かつ手づくりにより、魅力的な場づくりができているところも高く評価できる。今後も、この活動で培ったノウハウや、育った人材を活かしながら、墨田区内外に地域交流の場を広げていく発信地として、活動を広げていくことを期待する。</p>		

3	一般社団法人 SSK	移動式遊び場（プレイカー）事業	1,575,000
4	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	62,745,450
5	特定非営利活動法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊	地域の魅力と安心を包む「防災観光ふろしきプロジェクト」	395,000
	<p>（意見）</p> <p>子どもたちや保護者、地域の育成者等の意見も取り入れながら、地域にあった遊び場を共創した点を評価する。体を使い様々な体験を積み重ねることができる遊び場を提供し、子どもたちから「遊び方」のアイデアや創意工夫を引き出している点も評価できる。プレイカーを末永く活用していただき、事業費獲得の工夫も行いながら、今後も継続して地域に密着した遊び場の提供やエリアの拡大等を図っていくことを期待する。</p>		
	<p>（意見）</p> <p>コンサートのご招待・配信・まちかどコンサート等、多様な音楽活動により、人々に感動を与え、「音楽都市すみだ」を広くアピールしている点を評価する。また、区内の子供たちが生演奏に触れ、楽団員との音楽づくりを楽しむ機会を提供している点も評価できる。今後は、コンサートのご招待に区民を対象とした「公募抽選当選者」を加えるなどすれば、区民の関心を高められ、ファン層の拡大につながられるのではないかと期待する。</p>		
	<p>（意見）</p> <p>「防災観光ふろしき」を製作するのみならず、防災授業により子どもたちが防災について考えるきっかけを提供した点や、様々な団体とつながり、連携・協力関係が構築できた点を評価する。今後は、さらに「防災観光ふろしき」の活用面を多様な視点を踏まえ検討していくことを期待する。また、中学校の生徒防災組織との連携や、町会・自治会等の地域コミュニティの防災組織との連携の模索も望まれる。ソフト面における取組も含め、ツールや方法等を再考しながら、防災等の普及啓発を広げていっていただきたい。</p>		